



3月号の主な記事

北区内での移動はシェアサイクルで!.....4・5面
新型コロナワクチン接種をさらに前倒します.....6面
令和4年度「キタ塾」開講!.....7面
「マンション生活お役立ちBOOK・動画」公開中!!...8面
ドリームダンスバトル〜出演チーム募集〜.....12面
うめきた外庭SQUAREで防災を学ぶ2日間.....12面



本物の芸術を 本物の場所で 小中学生に 芸術鑑賞を

「うらめしや〜」。体験コーナーでは、生徒も天満天神繁昌亭の舞台上に上がり、身振り太鼓の効果音で幽霊を演じました。客席からは拍手喝采



本格的な劇場やホールで 「夢を見つける体験事業」

北区には大阪を代表する音楽ホールや劇場がたくさんあります。その特色を活かした北区独自の事業が、小中学生向けの芸術鑑賞会です。「北区夢を見つける体験事業」の一つで、「本物の芸術を本物の場所で」をモットーに、子ども達がホールや劇場に出かけます。令和3年度は、小学生にザ・シンフォニーホール(大淀南2)でのクラシック音楽鑑賞と大槻能楽堂(中央区上町)での能楽鑑賞、中学生に大阪四季劇場(梅田2)でのミュージカル鑑賞と天満天神繁昌亭(天神橋2)での落語鑑賞というメニューでした。大人もうらやましくなるようなラインアップです。

落語鑑賞会は昨年10月から12月に4回開催され、区内4中学校の1,2年生計395人が鑑賞しました。

初日の10月22日は豊崎中学校の2年生72人が繁昌亭にやってきました。学校から繁昌亭までは距離にして約2.3キロ、歩いて30分ほどという近さです。大阪で唯一の落語専門の定席(じょうせき)の風情のあるたずまいに、入場前から大盛り上がりでした。

落語はひとりで全ての役を演じ分ける、世界でも類のない話芸。小道具は手ぬぐいと扇子しか使いません。冒頭で落語家の林家竹丸さんがそんな特色と楽しみ方を解説しました。扇子を箸に見立ててうどんを食べる仕草は、客席の中学生も一緒に「ずずつ」とうどんをすする音を真似しました。

露の新幸さんの「金明竹(きんめいちく)」、竹丸さんの「動物園」の落語2席を楽しんだ後は、寄席囃子や太鼓などを使った効果音の実演。身振り太鼓の音で幽霊を表現する実演は、生徒も舞台上に上がって挑戦しました。

「打ち出し太鼓」に送られて繁昌亭を出るまで約1時間半という短い時間ながら、充実の内容でした。落語の殿堂の華やかな雰囲気とともに、記憶に残る時間になったでしょう。鑑賞した中学生の中から、繁昌亭の常連さんが育つのが楽しみです。この事業は令和4年度も実施されます。

2・3面に芸術鑑賞会特集

